



# し の ぶ 栄華の跡



国稀酒造

## 私と遺産

### コンクリートにないぬくもりが

暑寒別岳をバックに町を悠然と見下ろす増毛小。全面改築案まで出ていた建物に、児童らが元気に通っている。校舎が生き延びた背景に、「増毛小学校校舎を考える会」の努力があった。

町は00年春、防寒対策の不備や老朽化を理由に校舎改築計画を打ち出した。「教育環境をよりよくしたいのは賛成だが、改修すれば使えるものを壊すのはおかしい」。渋谷正之さん(40)は同年9月、町内の有志と共に同会を立ち上げた。

渋谷さんらは町議や町に要請を続ける一方、町民対象の見学会やフォーラムを実施。昨年7月、専門家の協力で改修の費用や方法を盛り込んだ提案書を作成し、町に提出した。こうした経緯が評価されて北海道遺産の候補となり、改築計画はほどなく白紙に戻った。

親子3代で同小に通っている渋谷さん。「木造校舎には、コンクリートの冷たい壁では味わえないぬくもりがある。増毛の原風景でもあり、このまま学校として利用しながら残ってくれれば」と願っている。

## まちづくりと遺産

### 民間所有多く保全にも限界

レトロな街並みを観光資源に活用しようと、